

日本公認会計士協会

# 北部九州会

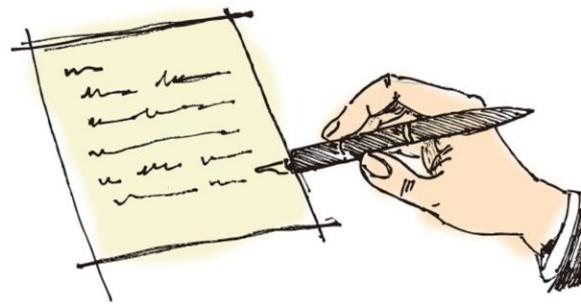
<http://n-kyusyu.jicpa.or.jp/>

2014.11

218

号





# サイパン(彩帆)訪問記

副会長 廣瀬隆明  
Takeaki Hirose

今年にはサイパン玉砕から70年の節目の年になります。戦争犠牲者は旧日本軍4万1千人、民間人1万2千人とされ、もう一つの沖縄戦といわれています。そこで思い立って10月上旬に慰霊と戦跡めぐりを目的としてサイパンに行ってきました。

## (一) 米軍上陸以前のサイパン

サイパン島は小豆島より若干大きな島で日本の南約2400キロの位置にあり、成田から直行便でおよそ3時間半かかります。1955年にスペインが統治しますが1898年にドイツに売却され、第一次世界大戦後の1920年からは日本の委任統治領となりました。日本は産業振興、都市開発、教育政策などを推し進め、特に準国策会社の南洋興発(株)は大規模なサトウキビ栽培を行いました。アジア最大の製糖産地として発展させました。サトウキビや資材の運搬のために島内を一周する軽便鉄道もありまし

たが、戦争で破壊され現在はありません。サイパンは砂糖の積出港であるとともに、同じく日本の統治領であるパラオなどとの貿易の中継地点、内地から南洋への玄関口として大いに栄え、当時の人口は台湾、朝鮮を含む日本人がおよそ3万人、現地人がおよそ7千人で、多くは南洋興発(株)の仕事に従事していたようです。

## (二) サイパン上陸

昭和19年6月11日(日)の早朝、米軍はB29による本土爆撃の基地とするために、サイパン島の攻撃を始めました。同島が本土から距離的に適当だったからです。

サイパンでは、戦況悪化に伴い満州の関東軍などから配属された陸軍2万8千名、海軍1万5千名の守備隊が駐留しており戦時体制下ではあったものの、島は至極平和でした。しかし、この日から4日間、激しい爆撃や艦砲射撃が始まり島の生活は一変しました。そして、15



写真①

日、満を持して米軍が上陸してきました。上陸は島の南西のサンゴ礁で囲まれた穏やかな海岸で二手に分かれて行われましたが、写真①は上陸地点の内陸部に置かれていた日本軍の中戦車です。3人乗りと4人乗りがありましたが、どちらかは不明です。日本軍の戦車は米軍の物に比較すればおもちゃみたいな代物で、あっという間に対戦車砲で全滅しました。

また、米軍上陸地点の海上200mくらい先には米軍のM4シャーマン戦車が海面から頭を出して、砲身を空に向けていましたが、壊れていないのはそれほど頑丈に造られていたということでしょうか。

一方、海軍は米艦隊や輸送船団を撃滅するため空母機動部隊が攻撃をかけたが、6月19日の決戦（マリアナ沖海戦）で壊滅的打撃を受け、サイパン島は孤立することになります。

### （三）戦跡・慰霊碑

島では、トラック島にも2年間住んでいたことがあるという日本人の女性ガイドさんと現地の若い運転手との3人で戦跡を回りました。頂いた戦跡地図では43か所記載されていましたが、一日のコースですのでその内主な所11か所を回りました。

前々日襲った台風のせいでぬかるんでいるところやかなり急な斜面を登らなければならぬところもあり、その都度運転手がロープを張ってそれを手すり代わりにして進みました。

野戦病院跡は車を降りて、山道を10分ほど歩いた所にありましたが、あちこちに洞窟があるだけで、何千人という負傷者は洞窟周辺の林に横たわっていただけではなかったかと思われます。

千羽鶴や線香が置かれていなければ、ここがどういう場所であったかわからなideでしょう。私もガイドさんに促されて

火のついたタバコを線香のように置いて供養しました。

また、通称「地獄谷」にも行きましたが、ここは7月6日に最高指揮官の南雲中将（ハワイを攻撃した時の空母機動部隊の指揮官です）ほか2名の指揮官が、残存兵3千人に翌日の最後の突撃を命令した後自決した場所です。これも山道を15分くらい歩いたところですが、野戦病院と同様、いくつかの洞窟に供物があるだけでした。

山道を歩いている時に草木に埋もれてコココーラの瓶がたくさん落ちていて、とに気が付きました。最近はまだあまり見かけませんが、あの特徴ある形をしたガラス瓶です。なぜこんなものがあるのか、誰かが不法投棄でもしたのかと思いがイドさんに尋ねると、戦争当時のものと知らされ驚きました。日本軍と一緒に逃げてきた民間人が飢えている時に米軍はコココーラを飲んでいたので。

写真②は昭和49年に我が国と北マリアナ諸島政府が合同で建てた慰霊碑です。背面の崖は、シューサイドクリフ（自殺の崖）として数百メートル手前は海に面した絶壁で、バンザイクリフと呼ばれている岬に

なります。ともに追い詰められた多くの民間人が身を投げた場所で、崖の上には大小多くの慰霊碑が並んでいます。

### （四）おわりに

太平洋戦争は軍、特に陸軍の上層部の暴走によって引き起こされました。中にはまともな意見を述べる軍人もいましたが、全て排除されました。異常ともいえるルールや偏向教育がなされ、その結果多くの兵や民間人が命を落とすことになったのです。全く残念なことですが、今となっては亡くなった方々のご冥福をお祈りするばかりです。



写真②